# 燃料及び石油化学製品の高騰等の影響・動向

➢ **中東情勢の緊迫化を踏まえ、道内関係団体及び市町村に対し、価格及び供給量の変動による影響等に関するヒアリング・調査を実施。**（8月17日から8月21日の間で実施）

依然として石油化学製品の一部では、納期の遅れなどが生じているものの、供給の安定化に向けた動きが進んでいる。一方、燃料油や石油化学製品の価格は高止まりが続き、幅広い分野でコスト上昇の影響が及んでおり、収益の圧迫を背景に資金繰りの悪化や価格転嫁を課題とする声が増えている。

| 区分 | 影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響 |
|---|---|
| 道民生活 | ◎LPガスの価格は6ヶ月連続で過去最高値を更新し、灯油やガソリンは過去最高値であった本年5月を下回るものの高止まりが続いている。<br><br>■依然として不安定な中東情勢から先行きが見えない中、全国最高水準にある本道の電気料金への影響が懸念される。また、ガソリン価格の上昇を抑える補助金の縮小が実施された場合、諸物価の高騰に繋がり生活への影響は計り知れない。 |
| 経済団体 | ◎価格の上昇は落ち着いてきているものの、高止まりの状態。そのため、仕入れコスト増加の一因となっている。供給面で大きな不足は見られないものの、今後の不安定化を懸念。<br><br>■材料費・燃料費上昇分の価格転嫁により節約志向が高まり、景気の減速につながる恐れ。また、コスト増が収益を圧迫することで今後の事業運営への影響を懸念。 |

| 区分 | 影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響 |
| --- | --- |
| 農業 | ◎飼料・肥料の調達に直ちに影響はないものの、飼料原料は上昇傾向。<br>ホクレンの令和8肥料年度の化学肥料について、平均で24.7%の値上げ。<br><br>■燃料・生産資材の価格上昇や供給制約による営農活動への影響が懸念。 |
| 林業 | ◎燃料や苗木生産資材などの価格が高止まりしていることに加え、事業活動に必要な油脂類など一部資材の不足。<br><br>■燃料や資材の価格の高止まりや資材の供給制限による、事業活動への影響や経営圧迫を懸念。 |
| 漁業 | ◎漁業用燃料・資材類の価格は高止まり。資材類の供給制限は改善傾向だが、注文過多により納期は遅れている。<br><br>■燃料や資材、物流費の価格高止まりによる漁業活動等への影響や、漁協や漁業者の経営圧迫を懸念。 |

| 区分 | 影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響 |
| --- | --- |
| 土木工事 | ◎アスファルト、シンナー、塗料などの資材価格は高止まり。また、塩ビ管など一部の資材で供給制限はあるものの、他の材料の供給は回復傾向にあり、不安は解消されつつある。<br>■資材価格の高止まりや供給制限が長期化した場合、経営への影響のほか、工期の遅延や受注判断への影響が懸念。 |
| 民間住宅工事 | ◎塗料、接着剤、断熱材、塩ビ管、ユニットバスなど多くの建設資材・住宅設備で納期の遅延は見られるものの、事業者は早期の発注や工期の調整などにより対応。また、資材価格は高止まりしており、増額分を顧客に転嫁するのは困難な状況。<br>■事業者は、値上げによる収益の圧迫や資金繰りの悪化を懸念しており、倒産の不安もあり。 |
| 建築工事 | ◎塗料、接着剤、配管材や電線ケーブルの被覆材料など多くの石油化学製品類で依然として価格高騰が続いている一方で、供給に関しては、納期に遅れはあるものの回復傾向にあり供給不安は解消されつつある。<br>■資材の納期遅延や価格高騰の状況が長期化した場合、企業収益圧迫のほか、工期の遅延や受注判断への影響が懸念。 |
| 食料品製造 | ◎包装資材は、一時期は在庫がなくなる不安も感じていたが、今は供給不安は感じていない。しかし、価格は高騰しているという状況に変わりはない。<br>■原価が上昇したからといってすぐに値上げすると、消費者が離れ、販売数が減ってかえって売り上げが落ちてしまうので、これまでの様々な経験を踏まえて、値上げのタイミングを見極めているという状況に変わりはない。 |

| 区分 | 影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響 |
| --- | --- |
| 木材・木製品製造 | ◎燃料や梱包資材などの価格が高止まりしていることに加え、製品の生産に必要な油脂類や接着剤など一部資材の不足。<br><br>■燃料や資材の価格の高止まりや資材の供給制限による、事業活動への影響や経営圧迫を懸念。 |
| 印刷関連 | ◎用紙・インキ・版材等、各メーカーから15～20%以上の価格改定が通知され、継続して価格が上昇しているが、現状で供給は不足していない。<br><br>■顧客に対する価格転嫁に理解を求めることが困難であると予測される。 |
| 医療機器・医薬品製造 | ◎医薬品製造に用いる容器等は多少の供給遅延はあるものの、医薬品製造に支障は生じていない。容器等の価格は高止まりしている状況。<br><br>■今後更なる値上げが想定される。 |
| 樹脂加工 | ◎原材料（樹脂ペレット、エチレン）・資材・石油製品の価格が高騰。<br>特に、シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が品薄、価格の高騰・上昇継続。<br><br>■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念される。 |

| 区分 | 影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響 |
| --- | --- |
| 鉄鋼 | ◎特に、鉄の圧延や切削加工で使用する機械の油類が品薄、高騰。シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が品薄、価格の高騰・上昇継続。<br>■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念される。 |
| 金属加工 | ◎特に、金属成型後の浸炭焼入れの工程で使用する油類が継続して高騰。シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が品薄、価格が継続して高騰。<br>■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念される。 |
| 機械加工 | ◎特に、加工機械の潤滑油などが品薄、高騰。シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が品薄、価格の高騰・上昇継続。<br>■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念される。 |
| 自動車部品製造業 | ◎特に、製造機械の潤滑油や切削油のほか、製造工程にある浸炭焼入れ（鋼材強化のための熱処理）の工程で使用する油類が品薄、高騰。シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が品薄、価格の高騰・上昇継続。<br>■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念される。 |

| 区分 | 影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響 |
| --- | --- |
| エネルギー関係 | ◎原油等の価格が上昇基調であることから、9月分電気料金（8月使用分）は単価上昇分が国による支援金増額分を上回り前月より上昇。9月分ガス料金（8月使用分）は国による支援金単価の増額により前月より下降。供給面では大きな影響はない。<br>■電気・ガス料金は、国による支援が実施される期間において、料金負担が一定程度軽減される見込み。供給面への影響については、引き続き状況を注視。 |
| 運輸 | ◎燃料価格は高止まりだが、供給は安定。エンジンオイル、尿素水や梱包資材等の石油関連製品の価格も高止まっており、一部受注停止や供給停止を受けるなど品不足の状況は依然として厳しい。<br><br>■価格上昇による経営悪化や供給停止による運行停止など、道民はもとより、観光客なども利用するバスやタクシー、物流を担うトラックなどの運行が困難となる恐れ。車両整備に関する資材の価格上昇、供給不足が出ており、安全管理等に不安。 |
| 飲食料品卸売・小売 | ◎状況に特段の変更はない。同じような状況が続いている。包装資材値上げによる納品価格値上げの連絡も続いている。<br><br>■小売業の包装材料の値上げの影響や供給不安が、今後出てくることが予想され、商品価格の上昇に伴う、消費者の買い控えを懸念している状況に変わりはない。9月値上げは100品目以上あり、買い控えは続くと思われる。 |

| 区分 | 影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響 |
| --- | --- |
| 宿泊 | ◎電気・重油等のエネルギーコストに加え、リネン類やアメニティ等の値上げも継続しており、コスト全体が高止まり。また、各種資材の注文から納品までのリードタイムの長期化が引き続き見られる。<br><br>■冬季のエネルギーコストのさらなる増加や、航空運賃値上げや物価高騰によるインバウンド・国内客の減少を懸念。また、全体的なコストの上昇による経営への影響も懸念される。 |
| 医療 | ◎軟膏壺や分包紙など衛生材料について、一部メーカーで供給制限や停止が発生しており、代替品で対応している。<br><br>■今後更なる値上げが想定される。 |
| 金融 | ◎原油価格高騰に伴う運転資金の相談は、引き続き多く寄せられている状況。<br><br>■現在の状況が続くようであれば、今後も相談が多く寄せられることを想定。 |

| 区分 | 影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響 |
| --- | --- |
| 市町村 | ◎7割を超える市町村で、燃料の契約単価の改定や入札不落、業者から供給制限の可能性の打診、供給日の遅れ等が発生。また、建築資材や医療・介護資材、指定ゴミ袋等の調達にも影響あり。前回調査（7/21時点）に比べ、影響ありと回答した市町村が微増。<br><br>■9割を超える市町村で、価格上昇に伴う予算不足や入札不落、供給の不安定化に伴う事業の遅延や公共施設等の維持管理への影響を懸念。 |
| 北海道 | ◎燃料単価契約における契約変更件数の件数は、ピーク時（4・5月）に比較すると低水準で推移。引き続き、医療用資機材や一次産業資機材など、幅広い品目で調達価格が上昇。なお、新たに影響が確認された品目はない。<br><br>■影響の長期化に伴い、今後の調達価格の上昇に伴う財政負担の増加や、供給不足に伴う事業の遅延等への影響を懸念。 |